

令和5年度行政事業レビューシート		(デジタル庁)					
事業名	預貯金口座情報提供等業務交付金			担当部局	デジタル社会共通機能グループ	作成責任者	
事業開始年度	令和3年度	事業終了(予定)年度	令和6年度	担当課室	ID認証・マイナンバー班 預貯金口座2法T	参事官 白井宏幸	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	公的給付の支給等の迅速かつ確実な実施のための預貯金口座の登録等に関する法律(令和3年法律第38号)第15条 預貯金者の意思に基づく個人番号の利用による預貯金口座の管理等に関する法律(令和3年法律第39号)第13条			関係する 計画、通知等	デジタル・ガバメント実行計画(令和2年12月閣議決定) デジタル社会の実現に向けた重点計画(令和3年12月閣議決定)		
政策	情報通信技術等の適正・効率化に関する施策の推進			主要経費	その他の事項経費		
施策	情報システムの整備						
政策体系・評価書URL	https://www.digital.go.jp/policies/assessment/						
事業の目的 (5行程度以内)	預貯金口座への付番を円滑に進める仕組み及び公金受取口座の登録の仕組み等の実現						
現状・課題 (5行程度以内)	上に掲げる「事業の目的」のため、令和3年度から預金保険機構にてシステム整備を行っているところ、他人のマイナンバーでの公金受取口座の誤登録又は預貯金口座の誤付番を発生させないシステムを早急に構築することにより、個人情報漏えいや誤給付のおそれを限りなくゼロに近づけることで、マイナンバーを活用した本制度を安心して利用していただくための対応を行う。						
事業概要 (5行程度以内)	公的給付の支給等の迅速かつ確実な実施のための預貯金口座の登録等に関する法律(令和3年法律第38号)及び預貯金者の意思に基づく個人番号の利用による預貯金口座の管理等に関する法律(令和3年法律第39号)の施行に向けて、預金保険機構が実施する各金融機関等との間における、預貯金口座に係る情報の連絡を行う仕組みや、預貯金者の個人番号等の通知を行う仕組み等の構築に充てるための交付金						
事業概要URL	-						
実施方法	交付						
補助率等	(補助事業でないため、対象外)						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		令和5年度第1次補正予算	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	-	-
		執行額(G)	-	195	658	-	-
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	-		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
				-			
	計(A)	-	-				

活動内容① (アクティビティ)		預金保険機構が実施する各金融機関等との間における、預貯金口座に係る情報の連絡を行う仕組みや、預貯金者の個人番号等の通知を行う仕組み等(名称:口座情報連携システム)の構築を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		法令の施行に向けて必要となる機能を備えたシステムを適切に整備する。	法令の施行までに必要な機能を備えたシステムの整備を完了する。	活動実績	-	-	-	-	-	-
				当初見込み	-	-	-	-	-	-
↓		成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		短期目標には構築完了した「システムの安定的な運用」を設定した。 ※本交付金によるシステム構築完了(令和5年度予定)及び法令施行完了(令和6年度予定)後である、令和6年度を短期目標年度とした								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
		口座情報連携システムの稼働率99.9%(実稼働時間/予定稼働時間)を目標に安定的な運用に努める。	計画停止や災害による停止を除く業務の稼働率(実稼働時間/予定稼働時間)	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	99.9	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		国民・金融機関等に対して、安全・安定的にサービスを提供する必要がある。同じく、安全・安定的にサービスを提供する必要があるマイナンバー制度関係システムの稼働率と同じ水準を目標数値に設定した。								
↓		成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
成果目標及び成果実績①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
		-	-	成果実績	%					
				目標値	%					
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓		成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
		システムの安定運用を前提に、長期目標には公金受取口座の制度を充実させ「公金受取口座としての制度基盤を安定させること」を設定した。 ※短期目標年度(令和6年度)の翌年度である、令和7年度を長期目標年度とした								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7 年度	
		公金受取口座登録法施行規則に定められた給付のすべてにおいて公金受取口座情報が利用可能となるよう、公金受取口座情報を利用可能な給付の数を増やす	公金受取口座情報を利用可能な公的給付の支給等の種類の数/制度上定められた公的給付の支給等の種類の数	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	100	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		公金受取口座を利用して受け取ることができる給付金等(https://www.digital.go.jp/policies/account_registration/benefits/)								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

※令和4年度実績を記入するもの

デジタル庁
658百万円



A. 預金保険機構
658百万円

預金保険機構が実施する各金融機関等との間における、預貯金口座に係る情報の連絡を行う仕組みや、預貯金者の個人番号等の通知を行う仕組み等の構築

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
交付金	預貯金口座情報提供等業務交付金事業	658			
計		658	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	預金保険機構	2010005002591	預貯金口座情報提供等業務 交付金	658	補助金等交付	-	-	-
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	